

令和6年度事業計画

公益財団法人 医学教育振興財団

令和6年度においては、事業の一層の充実発展を期し、以下の計画を推進する。

1. 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

(1) 第42回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内の医科大学1校を選び、医学教育のシステム、カリキュラム等について
実地に視察研究し、今後の医学教育の改善に資する。

期 日：9月12日（木）・13日（金）/開催校：富山大学医学部

2. 医学教育に関する研究の助成

(1) 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒直後教育の調査・研究に対する助成

(2) 医学教育賞（懸田賞）

3. 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

(1) 第35回「医学教育指導者フォーラム」の開催

国公立医科大学（医学部）における医学教育の改善並びに教育研究組織
の円滑な管理運営に資するため、医学教育について責任ある立場の者を対象
に開催する。

期 日：7月23日（火）13：00～17：00

開催方式：対面・オンライン

テーマ：医師法改正後のあるべき診療参加型臨床実習とは

(2) 英国大学医学部における臨床実習のための短期留学

医学生の派遣

派遣予定校4校（ニューキャッスル・セントジョージ・グラスゴー・リーズ）

(3) 川崎学園・グリーンテンプレトンカレッジ（JMEF）フェローシップ

医学研究者を英国オックスフォード大学グリーンテンプレトンカレッジに
医学研究等のために留学させる。

4. 医学教育資料等の刊行

『J.M.E.F.』の刊行、「国内医科大学視察と討論の会」、「英国短期留学」報告書の
作成

5. その他目的を達成するための事業

内外の関連機関・団体との提携、協力及び交流を行う。

令和6年度 事業報告書

(令和6年4月から令和7年3月まで)

公益財団法人 医学教育振興財団

令和6年度においては、事業の一層の充実を図りつつ、次のとおり事業を実施した。

1 医学教育に関する調査・研究並びに資料の収集

(1) 第42回「国内医科大学視察と討論の会」の開催

国内医学教育事情調査の一環として、富山大学医学部の協力のもとに「富山大学医学部における教育」を討論の主題として、大学からの説明、討論、及び学生との懇談を行い、学内施設の視察を行った。全国の国公立大学医学部等関係者87名が参加した。

① 期日：令和6年9月12日(木)・13日(金)

② 場所：富山大学（五福キャンパス）

③ 討論の主題：

ア 多職種連携教育 和漢教育

「富山大学医学部における参加型漢方医学教育の取り組みについて」

イ ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業 地域医療教育

「富山大学における地域医療教育」

ウ ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業 感染症教育

「ポストコロナ時代の感染症医療人材育成」

エ 研究医養成教育 研究医養成プログラム

「次世代を担う医学研究者を育成するための機会としての研究医養成プログラム」

④ プログラム：

9月12日(木)

- ・開会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長
磯部 祐子 富山大学理事・副学長（教育担当）
- ・特別講演Ⅰ 医学教育の現状と課題
俵 幸嗣 文部科学省高等教育局医学教育課長
- ・学部長講演 富山大学の医学教育－「仁の精神」をもって地域と世界で活躍できる医療人の養成－
関根 道和 富山大学医学部長
- ・富山大学医学部医学科カリキュラム概要説明
伊藤 哲史 富山大学医学部医学科教務委員長
- ・講演1 和漢薬教育「富山大学医学部における参加型漢方医学教育の取り組みについて」
貝沼茂三郎 富山大学和漢診療学講座教授
- ・講演2 地域医療教育「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業と富山大学における地域医療教育」
高村 昭輝 富山大学医学教育学講座教授
- ・講演3 ポストコロナ感染症教育「ポストコロナ時代の感染症医療人材育成」

山本 善裕 富山大学感染症学講座教授

- ・講演 4 研究医養成プログラム「次世代を担う医学研究者を育成するための機会としての研究医養成プログラム」

中川 崇 富山大学医学部副医学部長

- ・学生との懇談
- ・懇親会（ANA クラウンプラザホテル富山）

9月13日(金)

- ・総合討論 司会) 伊野 美幸 医学教育振興財団評議員
- ・特別講演Ⅱ アイドリング脳研究から探る潜在能力
井ノ口 馨 富山大学生化学講座卓越教授（紫綬褒章受章者）
- ・閉会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長
関根 道和 富山大学医学部長
- ・施設見学（杉谷キャンパス）①医学部シミュレーションセンター
②和漢医薬学総合研究所民族薬物資料館
③薬学部附属薬用植物園
④医薬学図書館

2 医学教育に関する研究の助成

(1) 令和6年度「医学教育研究助成」

- ① 基礎医学教育、臨床医学教育及び卒後医学教育の調査・研究に対する助成事業である。
本年度は35件の申請があり、財団の審査委員会において審査を行い、10件（新規採択9件・継続承認1件）に助成した。

氏名	所属大学	研究課題（助成額）
柳田 育孝	千葉大学医学部附属病院 総合診療科特任助教	AI 模擬患者を活用した医療面接実習の有用性の検証（50万円）
南谷 優成	東京大学医学系研究科総合放射線腫瘍学講座特任助教	医療系学生によるがん教育の実践効果と生徒の学習能力向上の評価（50万円）
里村 嘉弘	東京大学大学院医学系研究科・医学部 医学のダイバーシティ教育研究センター副センター長・准教授	障害のある医学科学生の修学と合理的配慮の実態調査（50万円）
金 恭平	岡山大学医学部脳神経外科学客員研究員	中枢神経疾患における神経学的異常所見の定量の試み（50万円）

山本 晃	岡山大学病院院内がん登録室(血液腫瘍内科、医学科 IR 室)助教	AI 支援型の模擬医療面接:研修医のための Bad News 伝達スキルトレーニングプラットフォームの開発 (50 万円)
村上 雅一	鹿児島大学病院小児診療センター小児外科特任助教	医学生に対する 3D ホログラム提示による疾患解剖の理解を向上する支援システムの構築と評価 (50 万円)
堀 周太郎	慶應義塾大学医学部外科学教室医局講師	感性アナライザ®を用いた、鏡視下手術トレーニングにおける心理状態の客観的解析 (50 万円)
宮上 泰樹	順天堂大学医学部総合診療科学講座助教	初期臨床研修医が関与した診断エラーの実態並びに診断エラーの振り返り効果の調査研究 (50 万円)
西崎 祐史	順天堂大学医学部医学教育研究室先任准教授	OSCE における首掛け型ウェアラブルデバイスを活用した遠隔評価システムの開発 (50 万円)
小澤 悠里	杏林大学付属病院小児科助教	多職種・キャリア格差のあるチーム医療の問題点の明確化とトレーニングカリキュラムの開発 (年度を跨がる研究/2 年目) (10 万円)

② 「医学教育研究助成(令和 5 年度助成)報告会」の開催

令和 6 年 12 月 3 日(火)、医学教育研究助成(令和 5 年度助成)報告会(オンライン方式)が開催され、以下の報告が行われた。研究助成授与者、文部科学省医学教育課、本財団役員等 36 名が参加した。

司 会) 前野 哲博 医学教育振興財団理事
 開会挨拶) 小川 秀興 医学教育振興財団理事長
 閉会挨拶・講評) 栗原 敏 医学教育振興財団常務理事

- ・報告 1 医学生における超音波ガイド針生検シミュレーション教育の有用性についての検討
 辻 憲二 岡山大学学術研究院医歯薬学域腎・免疫・内分泌代謝内科学助教
- ・報告 2 卒前臨床実習における「基本的な産婦人科技能」: Delphi 法による医学教育学・産婦人科学専門家の意見の集約
 野平 知良 東京医科大学医学教育学分野講師
- ・報告 3 双方向性の遠隔検体観察・制御システムを用いた検査試料の顕微鏡観察教育の革新
 前田 卓哉 埼玉医科大学臨床検査医学教授
- ・報告 4 ボリュームレンダリング・仮想現実を併用した、3 次元画像解剖教育への複合的アプローチ
 吉岡 直紀 国際医療福祉大学成田病院放射線科臨床教授

- ・報告 5 新しい血管内腔観察ツールを併用したわかりやすい微小血管吻合術教育システムの開発
大河内真之 帝京大学医学部形成外科病院教授
- ・報告 6 米国式ディクテーションと手術シミュレーションによる系統的な外科トレーニングプログラムの開発
江口 隆 信州大学医学部外科学教室呼吸器外科学分野講師
- ・報告 7 医学生におけるアンプロフェッショナル行動の実態と教育的介入 構築の基礎的研究
五十嵐 涼子 東京医科大学医学教育学分野講師
- ・報告 8 拡張現実聴診教育システムの改良と教育効果検証
小林 欣夫 千葉大学大学院医学研究院循環器内科学教授
三浦慶一郎 (代理) 千葉大学大学院医学研究院循環器内科学非常勤講師
- ・報告 9 先天性心疾患教育への効率的な 3D 心臓モデル活用の探索
野崎 良寛 筑波大学附属病院小児科病院講師
- ・報告 10 診療科・所属施設横断型アレルギー診療教育システムの構築
正木 克宜 慶應義塾大学医学部内科学教室 (呼吸器) 助教
- ・報告 11 触れるバーチャルリアリティ臨床実習教材開発の為に基礎的検討
山本 憲 順天堂大学健康データサイエンス学部教授
- ・報告 12 VR/AR 技術で手指衛生行動改善のための新たな教育ツールを模索する
萩谷 英大 岡山大学病院感染症内科准教授

(2) 令和 6 年度「医学教育賞 (懸田賞)」

若手の研究者を対象として、医学教育の奨励に貢献のあった者に与える医学教育賞 (懸田賞) の第 32 号、第 33 号を授与した。

なお、選考は一般社団法人日本医学教育学会に依頼した。

第 32 号受賞者：川上ちひろ 岐阜大学医学教育開発研究センター准教授

論文： Difference between perceptions of preceptors and newly graduated nurses regarding delay in professional growth: a thematic analysis (BMC Medical Education (2022) 22:563)

第 33 号受賞者：野村 理 岐阜大学医学教育開発研究センター併任講師

論文： Japanese medical learners' achievement emotions: Accounting for culture in translating Western medical educational theories and instruments into an asian context (Advances in Health Sciences Education (2021) 26:1255-1276)

3 医学教育機関の教職員及び学生に対する研修及び援助

(1) 第 35 回「医学教育指導者フォーラム」の開催

令和6年7月23日(火)、ハイブリッド方式〔対面(東京慈恵会医科大学)・Zoom ウェビナー〕にて、医学教育に責任のある方々を対象に、全国の国公私立大学医学部等関係者190名(対面32名・ウェビナー158名)が参加し開催された。

① 主題 医師法改正後のあるべき診療参加型臨床実習とは

② プログラム

- ・開会挨拶 小川 秀興 医学教育振興財団理事長
- ・挨拶 俵 幸嗣 文部科学省高等教育局医学教育課長
- ・趣旨説明 北村 聖 医学教育振興財団常務理事

- ・講演1 Clinical Practice in the Early Years of Medical School
Anna Chang Professor, University of California, San Francisco USA
司会) 東田 修二 東京医科歯科大学医学部長

- ・講演2 Increasing Expectations for Medical Students as Practitioners
Calvin Chou Professor, University of California, San Francisco USA
司会) 伊野 美幸 聖マリアンナ医科大学特任教授

- ・総合討論 司会) 錦織 宏 名古屋大学総合医学教育センター教授

話題提供 診療参加型までの臨床実習について考える
泉 美貴 昭和大学医学部教授

話題提供 診療参加型臨床実習の実践と問題点
山根 正修 島根大学医学部教授

話題提供 地方中規模病院における臨床実習と医学生教育
佐藤 泰吾 諏訪中央病院長

パネリスト) Anna Chang、Calvin Chou、泉美貴、山根正修、佐藤泰吾

- ・閉会挨拶 栗原 敏 医学教育振興財団常務理事

(2) 第34回「英国大学医学部における臨床実習のための短期留学」の実施

卒前臨床教育の充実向上を図るため、本財団の推薦した日本の医学生が英国の大学医学部において4週間の臨床実習を体験する制度である。

本年度は全国の国公私立大学医学部医学科より28名の学生の応募があり、財団の選考委員会による選考を経て11名を派遣することとした。

① 留学期間

- ・令和7年3月3日(月)～3月28日(金) ニューキャッスル、グラスゴー
- ・令和7年6月2日(月)～6月27日(金) リーズ

② 留学生

- ・ニューキャッスル大学医学部(4名):
上野 眞子(女) 昭和大学
小川 万裕(女) 群馬大学

佐藤宗二郎（男） 弘前大学
松木 彩絵（女） 順天堂大学

・グラスゴー大学医学部（4名）：

浅尾聡一郎（男） 藤田医科大学
阪上あすか（女） 愛知医科大学
平手真里華（女） 宮崎大学
無相 遊月（女） 横浜市立大学

・リーズ大学医学部（3名）：

武井 宏樹（男） 京都大学
並木 雄央（男） 東京大学
福留 舞（女） 筑波大学

4 医学教育資料等の刊行

本財団機関誌『J.M.E.F.』第44号を編集刊行した。また、第42回「国内医科大学視察と討論の会」（開催：富山大学）報告書、2023年度「英国大学医学部での臨床実習のための短期留学」報告書を作成した。

5 その他

(1) 令和6年度「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」への協力

「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」（文部科学省主催、公益財団法人医学教育振興財団・一般社団法人全国医学部長病院長会議等協力）が令和6年7月24日（水）にオンライン方式にて開催され、これに協力した。

6 会員

全医科大学・医学部82校（国立42校・公立8校・私立31校・大学校1校）が一般会員として、本財団事業の実施に参画している。

令和6年度に賛助会員として、財団の事業にご協力いただいた企業は、次の11社である。

アステラス製薬株式会社	アルフレッサ株式会社
学園パーキング株式会社	協和キリン株式会社
塩野義製薬株式会社	株式会社スズケン
武田薬品工業株式会社	第一三共株式会社
中外製薬株式会社	東邦薬品株式会社
株式会社メディセオ	

7 寄附金等の募集

本財団が実施する各種事業の一層の拡充を図るため、下記事業にあてることを目的として寄附金等の助成を受けた。

・「令和6年度 医学教育振興財団事業」に対する寄附として

株式会社医学書院 50,000 円

- ・「第 35 回 医学教育指導者フォーラム」外国人講師招聘助成として
公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団 500,000 円

8 令和 6 年度 医学教育振興財団 会議録

月 日	会 議 等	議 事
令和 6 年 5 月 23 日 (木)	第 25 回 理事会 (オンライン方式)	議案 (1) 令和 5 年度事業報告について (2) 令和 5 年度収支決算について (3) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について 報告 (1) 職務の執行状況について
6 月 17 日 (月)	第 16 回 評議員会 (オンライン方式)	議案 (1) 令和 5 年度事業報告について (2) 令和 5 年度収支決算について (3) 理事の選任について (4) 監事の選任について (5) 評議員の選任について
6 月 24 日 (月)	理事会 (決議省略)	決議事項 (1) 理事長及び常務理事の選定について (2) 各種委員会委員の選任について
7 月 23 日 (火)	第 35 回 医学教育指導者フォーラム (対面及びオンライン方式) (東京慈恵会医科大学)	詳細は「事業報告書」に記載
7 月 24 日 (水)	令和 6 年度 医学・歯学教育指導者のためのワークショップ (オンライン方式)	詳細は「事業報告書」に記載
9 月 4 日 (水)	英国短期留学選考委員会 (ホテル東京ガーデンパレス)	議案 (1) 面接試験合格者の決定について
9 月 12 日 (木) ～13 日 (金)	第 42 回 国内医科大学視察と討論の会 (富山大学)	詳細は「事業報告書」に記載
10 月 1 日 (火)	第 1 回 運営委員会 (オンライン方式)	議案 (1) 令和 7 年度「医学教育指導者フォーラム」のテーマについて (2) 令和 8 年度「国内医科大学視察と討論の会」開催校候補について

12月3日(火)	医学教育研究助成(令和5年度助成)報告会(オンライン方式)	詳細は「事業報告書」に記載
12月9日(月)	第2回 運営委員会 (オンライン方式)	議案 (1) 令和7年度「医学教育指導者フォーラム」について (2) 令和8年度「国内医科大学視察と討論の会」開催校候補について
令和7年 2月3日(月)	審査委員会 (オンライン方式)	議案 令和7年度医学教育研究助成の審査について
3月6日(木)	第26回 理事会 (オンライン方式)	議案 (1) 令和7年度事業計画について (2) 令和7年度収支予算について (3) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について (4) 各種委員会委員の選任について 報告 (1) 令和7年度医学教育研究助成決定者について (2) 令和6年度英国短期留学選考結果について (3) 職務の執行状況について
3月25日(火)	第17回 評議員会 (対面及びオンライン方式) (TKP ガーデンシティ御茶ノ水)	報告 (1) 令和7年度事業計画について (2) 令和7年度収支予算について (3) 各種委員会委員の選任について (4) 令和7年度医学教育研究助成決定者について (5) 令和6年度英国短期留学選考結果について

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特に無い。

令和6年度収支予算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

公益財団法人 医学教育振興財団
(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計	令和5年度	増 減
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益	2,100,000	900,000	3,000,000	3,000,000	0
② 特定資産運用益	2,100,000	0	2,100,000	2,000,000	100,000
③ 受取会費	28,140,000	12,060,000	40,200,000	40,200,000	0
④ 事業収益	300,000	0	300,000	300,000	0
⑤ 受取寄付金	20,000,000	0	20,000,000	20,000,000	0
⑥ 雑収益	10,000	0	10,000	10,000	0
経常収益計	52,650,000	12,960,000	65,610,000	65,510,000	100,000
(2) 経常費用					
① 事業費	61,615,000		61,615,000	61,615,000	0
奨学金事業費	20,000,000		20,000,000	20,000,000	0
給料手当	17,500,000		17,500,000	17,500,000	0
退職給付費用	500,000		500,000	500,000	0
法定福利費	2,415,000		2,415,000	2,415,000	0
会議費	600,000		600,000	600,000	0
旅費交通費	1,300,000		1,300,000	1,300,000	0
通信運搬費	300,000		300,000	300,000	0
減価償却費	0		0	0	0
消耗品費	100,000		100,000	100,000	0
賃借料	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
調査研究費	3,000,000		3,000,000	3,000,000	0
広報普及費	2,000,000		2,000,000	2,000,000	0
学術会議費	6,000,000		6,000,000	6,000,000	0
研究助成費	4,800,000		4,800,000	4,800,000	0
雑役務費	100,000		100,000	100,000	0
② 管理費		12,205,000	12,205,000	12,205,000	0
役員報酬		60,000	60,000	60,000	0
給料手当		7,500,000	7,500,000	7,500,000	0
退職給付費用		200,000	200,000	200,000	0
法定福利費		1,035,000	1,035,000	1,035,000	0
福利厚生費		110,000	110,000	110,000	0
会議費		50,000	50,000	50,000	0
旅費交通費		500,000	500,000	500,000	0
通信運搬費		100,000	100,000	100,000	0
減価償却費		0	0	0	0
消耗品費		400,000	400,000	400,000	0
光熱水料費		350,000	350,000	350,000	0
賃借料		1,200,000	1,200,000	1,200,000	0
諸謝金		100,000	100,000	100,000	0
交際費		100,000	100,000	100,000	0
雑役務費		500,000	500,000	500,000	0
経常費用計	61,615,000	12,205,000	73,820,000	73,820,000	0
当期経常増減額	△ 8,965,000	755,000	△ 8,210,000	△ 8,310,000	100,000
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,965,000	755,000	△ 8,210,000	△ 8,310,000	100,000
一般正味財産期首残高	358,973,078	100,356,159	459,329,237	467,639,237	△ 8,310,000
一般正味財産期末残高	350,008,078	101,111,159	451,119,237	459,329,237	△ 8,210,000
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	350,008,078	101,111,159	451,119,237	459,329,237	△ 8,210,000

貸 借 対 照 表

令和7年3月31日現在

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	97,161	96,747	414
預金	7,480,796	7,292,440	188,356
流動資産合計	7,577,957	7,389,187	188,770
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	300,000,000	300,000,000	0
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	11,651,249	10,197,924	1,453,325
国際交流事業基金			
投資有価証券	210,000,000	210,000,000	0
預金	18,933,636	18,606,824	326,812
特定資産合計	240,584,885	238,804,748	1,780,137
(3) その他固定資産			
什器備品	0	0	0
電話加入権	233,400	233,400	0
その他固定資産合計	233,400	233,400	0
固定資産合計	540,818,285	539,038,148	1,780,137
資産合計	548,396,242	546,427,335	1,968,907
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	840,244	856,417	△16,173
流動負債合計	840,244	856,417	△16,173
2 固定負債			
退職給付引当金	11,651,249	10,197,924	1,453,325
固定負債合計	11,651,249	10,197,924	1,453,325
負債合計	12,491,493	11,054,341	1,437,152
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	535,904,749	535,372,994	531,755
(うち基本財産への充当額)	(300,000,000)	(300,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(228,933,636)	(228,606,824)	(326,812)
正味財産合計	535,904,749	535,372,994	531,755
負債及び正味財産	548,396,242	546,427,335	1,968,907

正味財産増減計算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	3,286,100	2,896,184	389,916
② 特定資産運用益	2,809,632	2,340,488	469,144
③ 受取会費	40,200,000	40,200,000	0
④ 事業収益	309,340	255,000	54,340
⑤ 受取寄付金	550,000	550,000	0
⑥ 雑収益	11,670	268	11,402
経常収益計	47,166,742	46,241,940	924,802
(2) 経常費用			
① 事業費	35,024,833	39,178,338	△ 4,153,505
奨学金事業費	0	0	0
給料手当	17,194,719	17,474,929	△ 280,210
退職給付費用	1,017,328	940,053	77,275
法定福利費	1,975,347	2,501,195	△ 525,848
会議費	48,826	28,056	20,770
旅費交通費	124,716	62,500	62,216
通信運搬費	305,629	214,284	91,345
減価償却費	0	0	0
消耗品費	112,773	125,466	△ 12,693
賃借料	2,565,900	2,565,900	0
調査研究費	2,642,253	2,112,784	529,469
広報普及費	374,616	209,616	165,000
学術会議費	8,210,766	8,003,475	207,291
研究助成費	250,000	4,750,000	△ 4,500,000
雑役務費	201,960	190,080	11,880
② 管理費	11,610,154	11,963,692	△ 353,538
役員報酬	60,000	60,000	0
給料手当	7,369,170	7,489,256	△ 120,086
退職給付費用	435,997	402,880	33,117
法定福利費	846,580	1,071,939	△ 225,359
福利厚生費	120,000	43,764	76,236
会議費	397,023	423,610	△ 26,587
旅費交通費	46,560	39,000	7,560
通信運搬費	63,428	50,426	13,002
減価償却費	0	0	0
消耗品費	243,717	255,809	△ 12,092
光熱水料費	380,300	371,353	8,947
賃借料	1,086,624	1,086,624	0
諸謝金	99,000	99,000	0
交際費	8,014	70,070	△ 62,056
雑役務費	453,741	499,961	△ 46,220
経常費用計	46,634,987	51,142,030	△ 4,507,043
当期経常増減額	531,755	△ 4,900,090	5,431,845

科 目	当年度	前年度	増減
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	531,755	△ 4,900,090	5,431,845
一般正味財産期首残高	535,372,994	540,273,084	△ 4,900,090
一般正味財産期末残高	535,904,749	535,372,994	531,755
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
Ⅲ 正味財産期末残高	535,904,749	535,372,994	531,755

正味財産計算書内訳表
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	2,417,245	868,855		3,286,100
② 特定資産運用益	2,809,632	0		2,809,632
③ 受取会費	28,140,000	12,060,000		40,200,000
④ 事業収益	309,340	0		309,340
⑤ 受取寄付金	550,000	0		550,000
⑥ 雑収益	11,670	0		11,670
経常収益計	34,237,887	12,928,855	0	47,166,742
(2) 経常費用				
① 事業費	35,024,833		0	35,024,833
奨学金事業費	0			0
給料手当	17,194,719			17,194,719
退職給付費用	1,017,328			1,017,328
法定福利費	1,975,347			1,975,347
会議費	48,826			48,826
旅費交通費	124,716			124,716
通信運搬費	305,629			305,629
減価償却費	0			0
消耗品費	112,773			112,773
賃借料	2,565,900			2,565,900
調査研究費	2,642,253			2,642,253
広報普及費	374,616			374,616
学会会議費	8,210,766			8,210,766
研究助成費	250,000			250,000
雑役務費	201,960			201,960
② 管理費		11,610,154	0	11,610,154
役員報酬		60,000		60,000
給料手当		7,369,170		7,369,170
退職給付費用		435,997		435,997
法定福利費		846,580		846,580
福利厚生費		120,000		120,000
会議費		397,023		397,023
旅費交通費		46,560		46,560
通信運搬費		63,428		63,428
減価償却費		0		0
消耗品費		243,717		243,717
光熱水料費		380,300		380,300
賃借料		1,086,624		1,086,624
諸謝金		99,000		99,000
交際費		8,014		8,014
雑役務費		453,741		453,741
経常費用計	35,024,833	11,610,154	0	46,634,987
当期経常増減額	△ 786,946	1,318,701	0	531,755
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計		0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 786,946	1,318,701	0	531,755
一般正味財産期首残高	424,829,871	110,543,123		535,372,994
一般正味財産期末残高	424,042,925	111,861,824		535,904,749
II 指定正味財産増減の部	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	424,042,925	111,861,824		535,904,749

附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産					
	投資有価証券	300,000,000	0	0	300,000,000
	基本財産計	300,000,000	0	0	300,000,000
特定資産					
	退職給付引当資産	10,197,924	1,453,325	0	11,651,249
	国際交流事業基金(投資有価証券)	210,000,000	0	0	210,000,000
	国際交流事業基金(普通預金)	18,606,824	326,812	0	18,933,636
	特定資産計	238,804,748	1,780,137	0	240,584,885

2 引当金の明細

(単位: 円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	10,197,924	1,453,325	0	0	11,651,249

財 産 目 録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	97,161
	預金	＜普通預金＞ みずほ銀行町村会館出張所	運転資金として	7,323,797
		＜通常貯金＞ ゆうちょ銀行	運転資金として	156,999
流動資産合計				7,577,957
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第59回ソフトバンクグループ社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理目的の財源として使用している。(共用財産)	300,000,000
特定資産	退職給付引当資産	＜普通預金＞ 三菱UFJ銀行赤坂支店	職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している。	11,651,249
	国際交流事業基金	＜投資有価証券＞ イオンモール第27回無担保社債他	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	210,000,000
		＜普通預金＞ 三菱UFJ銀行虎ノ門支店	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している。	18,933,636
その他の 固定資産	什器備品	財団内：金庫、書架他	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。(共用財産)	0
	電話加入権	財団内：03-3815-3895他2本	法人の基礎となる財産であり、公益目的保有財産として70%、管理目的として30%使用している。(共用財産)	233,400
固定資産合計				540,818,285
資産合計				548,396,242
(流動負債)				
	未払金	職員	職員1名の3月分の超過勤務手当として	0
	預り金	職員	職員3名の源泉所得税、社会保険料、住民税の預かり分	840,244
流動負債合計				840,244
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員	職員3名に対する退職金の支払いに備えたもの	11,651,249
固定負債合計				11,651,249
負債合計				12,491,493
正 味 財 産				535,904,749